

『箱の男』の漫画のロコミに関するアンケート調査

■アンケートの詳細

調査目的	『箱の男』の漫画のロコミに関するアンケート調査
調査対象	『箱の男』を読んだことのある20代～50代の男女10名
調査期間	2026年4月15日～2026年4月16日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hakonootoko/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『箱の男』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『箱の男』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	1人
30代女性	3人
40代男性	0人
40代女性	4人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2: 『箱の男』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
 ★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
 ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
 ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★★	7人
★★★★★	3人
★★★★	0人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

Q3:『箱の男』を実際に読んだ感想を教えてください。

子を失って夫にも去られやり場をなくした主人公の母性がこのような事件を招いてしまったのは大変かわいそうでもあるが、なかなかなんとも言えない物語でした。ひどいことをされていた女の子はあの主人公に連れて行かれて幸せだったと思うが、さすがに父親はあの箱の中で15年間の監禁は苦しかったと思う。完全にマインドコントロールで幸せだと洗脳されていたとしか思えない。そして最後の元旦那の笑顔が、このタイトルに繋がっているのだなあと思った。

物心ついたときから、心を病んだ父親は大きな箱の中で生活していて、顔を見たことはないものの、頭を撫でてもらったりその日あったことを話したりと、それが由美子にとっての普通の毎日だったのに、成長とともにその異常さに気づいていくところがシュールで引き込まれました。たまたまゲームを返すために部屋の中に入ってきた友人が、箱から手だけがした光景を目にし距離を置きながらも、誰にも言わずに卒業式の日に謝罪までしてくれるところや、唯一父親のことを話せる相手になったのはよかったです。ただ、彼氏に父親のことを話したことをきっかけに、箱の中の人は誰なのかという新たな難題が降り掛かってくるところに、伏線が意外な形で張られていて度肝を抜かれました。

X(旧Twitter)でかなり話題になっていたのを読み始めたのですが、予想を超える面白さにどハマりしてしまいました...!とにかく登場キャラクターたちの心情描写のリアルさが凄まじく、特に死産を経験し狂ってしまいがらも本物のゆみちゃんと触れ合うことで徐々に本来の人間性を取り戻していくお母さんの描写は圧巻でした。

現実では無さそうな設定なのですが、なんというか会話の仕方がリアルでこういう家もあるのかもと思わせているのが怖さを感じました。絵はシンプルなのですがそれが逆にいい意味で気持ち悪さを増長した感じを受けました。箱のなかに父親がいるという非日常的なものが日常的になる(慣れていく)ことで受け入れてしまうことに共感できました。あと主人公の女の子の成長と心の変化によって箱の扱いが変わることも面白かったです。普段はバナーマンガを覗くようとは思わないのですがこれはなんか興味が惹かれて読みました。

殺人事件とミステリーという物騒なテーマに子供の落書き風の素朴な絵がとてもミスマッチで、それゆえにとっても印象に残る作品でした。はじめの頃は娘の由美子の方も何も疑問も持たずに箱の中に引きこもるパパと平和に暮らしていくのですが、結局成長していくと共にそのバランスも崩れてだんだんと家庭や人間関係が崩壊していくこととなります。そんなふうには、主人公の周りがじわじわと壊れて真実があばかれていく感じがとても怖かったです。

たまたま広告で目に入り、表紙を見て気になってしまいついつい読んでしまいましたが、本当に内容が濃いお話でした。歳を重ねていくごとに、由美子が箱の父親に対して、色々なことを考え始める過程が凄く良いし、気が付き始めたらどんどん謎が深まっていくのも恐ろしくもあり、面白くもありました。それにただただホラーミステリーで終わらせるのではなく、人の怖いところにも迫っていくのが、恐ろしいけれど面白かったです。

インスタで流れてきて読んだら、続きが気になりすぎて一気に読みました。ある家族の物語で、小さいころの由美子は自分の家族が普通だと思っていたのに、成長と共に段々家族に違和感を持つようになっていく...というよくある設定ではありますが。ただ他と違うのは、タイトルにもある通り「なんで箱に？」というところ。始まりから「え、なに、どういうこと？」がありすぎて、どんどん読んでしまうぐらい面白かったです。

ほのぼの系のゆるい絵柄に反して内容が非常に薄暗く、ゾッと背すじが寒くなるようなインパクトがありました。箱の中にいるのは一体誰なのか、なぜずっと箱の中にいるのかななどのミステリー要素と、やるせないヒューマンドラマ要素が上手くかみあっているのに加えて、先の展開がまったく読めないところがとても面白かったです。

いったん最後まで読んでからもう一度読み返すと、このシーンのお父さんの手にはこんな意味があったんだという発見があったり、お母さんはこのセリフをこんな気持ちで言っていたらどうなと想像がふくらんだり、読むたびに味わいが深くなり楽しめる作品だと思いました。また、ラストのたくさんの人が箱を買おうとするオチが良かったです。

不穏なのにほっこり系の過去エピソードを楽しんでいると急にサスペンスチックな現在の話になり、かと思えば子育てブログにありそうなお母さんの4コマ絵日記が差し挟まれたり・・・と読者を飽きさせない構成で、あまりの面白さに目が離せず、最初から最後まで一気に読んでしまいました。読み始めは少々とびな設定のように思いましたが、読み終えた時には誰もが抱える可能性のある心の闇をみごとに描いていると感じました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス